



スクールリポート

学校教育課
☎23-3679

学校生活の
一コマを
紹介



「学習発表会」

山田もとさんから学ぶ

大草小学校

本校の校歌を作詞した大草出身の児童文学作家山田もとさんは、数々の民話を出版されており、地域「大草」の宝です。今年は生誕100年。そこで、今年度は、もとさんについて学んだことを、学習発表会で発表しました。

3年生は、校歌について学んだことをオリジナルの劇にし、「校歌はぼくらのエールだ!」を演じました。調べ学習の中で見つけた昭和54年のPTA新聞「はぐるま」に載ったもとさんの言葉や、校歌ができた喜びを綴った当時の6年生の作文を劇の中で紹介しました。この劇を見た児童や地域の方は、「校歌に込められた思いをかみしめながら、校歌を心のエールとして、これからも大切に歌い続けていきたい」という思いを強くしました。

4年生は、もとさんの作品「水の歌」を劇にして発表しました。この作品は、もとさんの幼少期のことが実話として描かれています。児童は、当時の水汲みの苦勞がわかるように、「井戸の水くみ」を体験し、演技に生かしました。昔の言葉や方言で話すこと、一人で何役もこなすことは、難しいことでしたが、力を合わせ、見事に演じることができました。



●3年生劇「校歌はぼくらのエールだ!」



●4年生劇「水の歌」



「学びに向かう子」

国語の授業研究

野田小学校



●課題を確認する児童たち



●その意見いいね!

小学校では今年度から新しい学習指導要領による授業がスタートし、本校では、「自分の考えに自信を持って表現できる子」を目指し、その実践に取り組んでいます。

特に重点を置いているのが、自分の学びを振り返る時間です。しかし、その時間が設定されていても、子どもは何をどう確認したら良いのか曖昧になりがちです。そこで、支援策として活用しているのが『野田っ子ポイント』です。学習課題から生み出された振り返りのポイント(野田っ子ポイント)をもとに、学びの確認をします。

「今日の学習を『野田っ子ポイント』をもとに確認してみよう」と問かけると、子どもらしい意見も多く出ます。指導者の想いを越える発想が出された時などは、「野田っ子やるじゃない!」と実感できる瞬間で、学級全体で喜びを共有します。低学年の授業では、話し合いの途中で「それって『野田っ子ポイント』じゃない?」という児童からの自発的な発言も出てきています。来年度の10月に、実践の成果を市内外の先生へ向け発表する予定です。